

# 八千代町公共交通の現状及びニーズ調査の方法について（案）

## 1. 目的

今後の高齢社会を見据え、高齢者など自家用自動車を運転しない交通弱者に対し、買い物や通院など、日常生活の足の確保が求められていることから、利用者の利便性に考慮した公共交通網の充実が求められている。

地域に適した公共交通施策を展開するためには、その地域の現状を十分に把握し分析することが重要であるため、町全域に集落が散在しているという当町の特色に効果的な施策の1つとして考えられる、予約型の交通システムの「デマンド型交通」の導入を想定し、次の方法により調査を実施する。

## 2. 調査の方法

- (1) 住民アンケート
- (2) 関係者ヒアリング
- (3) 医療機関巡回バス利用者アンケート

## 3. 調査手法の詳細

### (1) 住民アンケート

#### ①対象件数

1,000 件程度

#### ②アンケートの方法

民生委員に依頼し配布・回収

配布・回収については民生委員定例会時に依頼

#### ③対象者

- ・高齢者・学生のいる世帯など、公共交通を必要としている世帯
- ・町議会議員、行政区長、副区長など

#### ④アンケート内容

- ・日常生活の移動の傾向（買い物、通院、通勤等）
- ・公共交通の現状（医療機関巡回バス、茨急バスの利用状況等）
- ・公共交通に対する課題、要望
- ・デマンド型交通の導入を想定した場合、利用料金額、利用する日数、移動場所等

### （２）関係者ヒアリング

#### ①対象者

交通事業者、高齢者団体、医療機関、学校関係者等

#### ②方法

事務局、委託業者で関係者を訪問し、ヒアリングを行う

#### ③聞き取り事項

- ・公共交通の現状
- ・公共交通に対する課題、要望

### （３）医療機関巡回バス利用者アンケート

#### ①対象者

医療機関巡回バス利用者（５０名程度）

#### ②方法

運行業者の沢木交通に依頼し、利用者に対して車内でアンケート用紙を配布  
回収は郵送

#### ③アンケート内容

- ・医療機関巡回バスの利用状況
- ・医療機関巡回バスに対する課題、要望等
- ・デマンド交通の導入を想定した場合、利用料金額、利用する日数、移動場所等